

自然から学ぶ

高知工科大学 社会システム工学群建築・都市デザイン専攻

1151002 ケオマニヴォンチッタヴォン(Keomanivong Chittavong)

Key words:自然の調和、水上移動レストラン

1. はじめに

ダムとは河川などの水をせき止めるために設けられる土木構造物であり、日本語では堰堤と呼ぶ。狭義では日本の河川法に準じた区分により、基礎地盤から堤頂までが 15m 以上あるものをダムと呼び、15m 以下の物は単に堰と呼ぶ。また、水以外の物を貯留することを目的とした構造物は法律上ダムとは異なる物として扱われる。

ダムは、人々の生活を潤し、また、人命や財産を守るため、それぞれ目的に応じた機能を持っています。ダムの目的が様々あり、例えば：洪水調節、既得取水の安定化と発電がある。ダムを造ること、一般的に自然を破壊することなので環境が悪くなる。ダムが出来る前とダムが出来る後の風景が違って風景が以前より悪くなった所もあり、良くなる場所もある。多くの人のダムのイメージはダム湖が危ない、汚いというイメージする人がよく聞きました。また、ダムのダム湖を何も利用してないところが多く見える。

2. 杉田ダムについて

杉田について、杉田ダム(写真 1:杉田ダム)は高知県香美市香北町橋川野 597 の物部川に造られたものである。杉田ダムは発電のために西暦 1959 年に造られた。ダムが出来た後にも、綺麗な風景が残っている。



写真 1: 杉田ダム



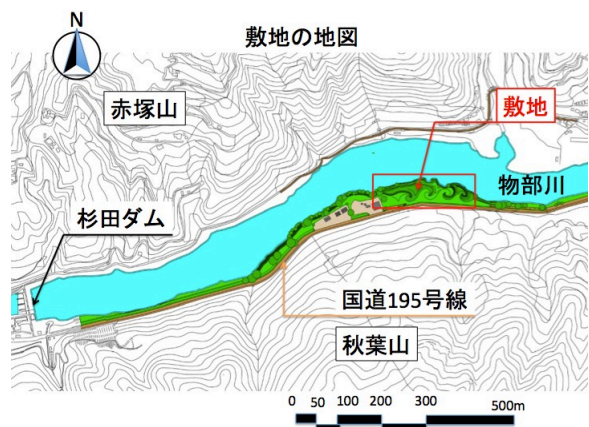
写真 2:杉田ダムの前

3. 計画目的

ダム湖の何も利用しない場所を生かして良い施設を造りたい。杉田ダムの今のある風景を利用して自然を眺めながら、美味しい食事できる場所を造る。また、ダム湖での魅力的な施設を造ることが目的である。

4. 計画対象地周辺の分析

対象敷地は高知県香美市香北町橋川野 597 杉田ダム湖である。2012 年 10 月 20 日の調査では敷地の風景の山や田んぼなどとても綺麗で水が多かった。2013 年 1 月 20 日の調査では杉田ダムの水量が少なった。敷地の周辺で深く調べに行ってきた。詳しい地図を作製した。敷地の周辺の写真も取った。



図面 1: 敷地



写真 3: 敷地周辺の風景



写真 4: 敷地北側の風景

5. 計画内容

杉田ダム湖の綺麗な風景を見える場所で交通便利のレストランと船を乗って自然や川沿いの町を眺める。また、自然から学びかたちを取り入れる。周辺の環境を調和して新しい建築型を造る。

1. 自然を眺めながら美味しい食事できる場所

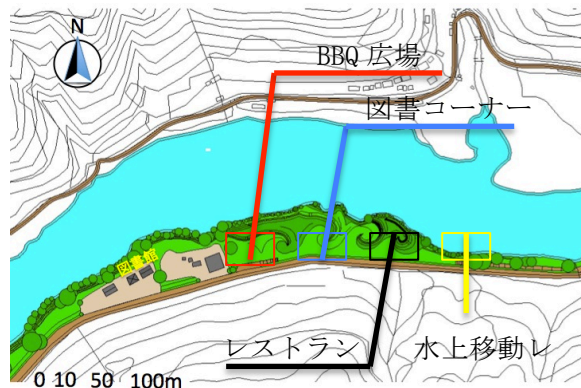
1.1 レストラン

1.2 水上移動レストラン

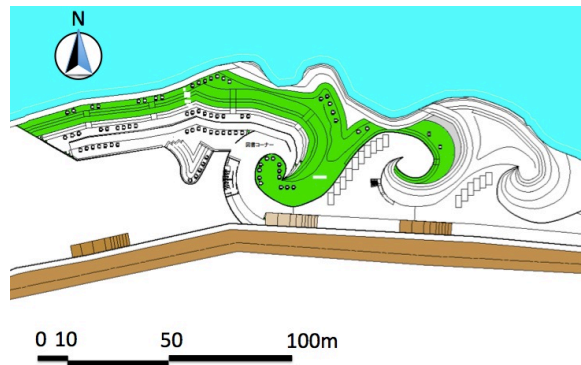
2. ダム湖での魅力的な施設

2.1 図書コーナー(図面3)

2.2 BBQ 広場と花見場



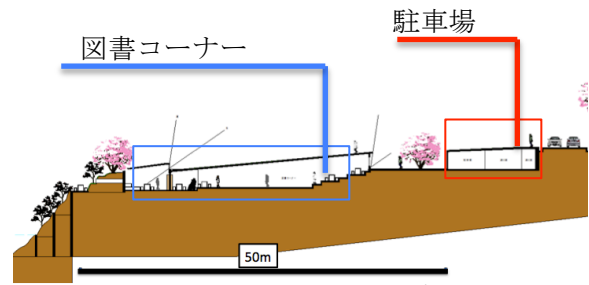
図面 2: 配置図



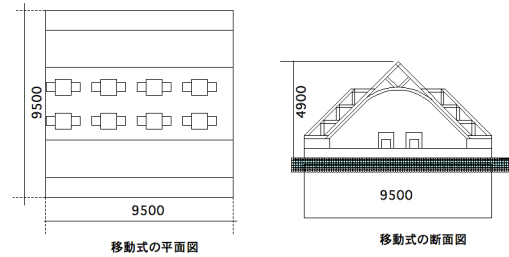
図面 3: 図書コーナー平面図



図面 4: 北側立面図



図面 5: 断面図 A-A'



図面 6: 移動式の平断面図

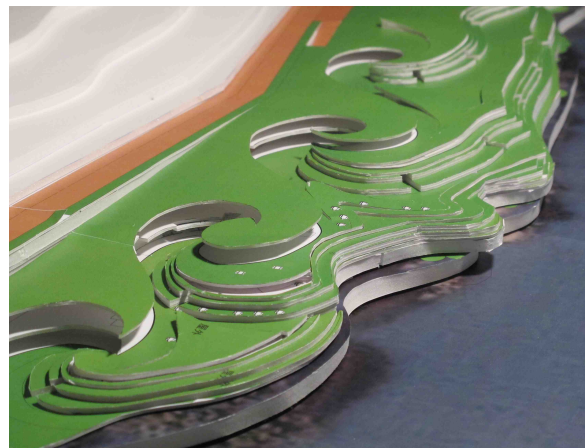


写真 7: 模型

6. まとめ

周辺環境から導いたうずと棚田を用いて美しい景観を保ちつつダム湖の風景を眺めながら、美味しい食事できる場所。その他の楽しい雰囲気のある施設を設計しました。

参考文献

1. <http://www.maps.google.co.jp>
2. https://www.mlit.go.jp/river/basic_info/jigyo_keikaku/gaiyou/seibi/pdf/monobegawa87-4.pdf
3. <http://damnet.or.jp/cgi-bin/binranA/All.cgi?db4=2312>
4. <http://d.hatena.ne.jp/keyword/%A5%C0%A5%E0>
5. <http://www.pref.toyama.jp/branches/1550/mokuteki.ht>